

意見等の提出書

案 件 名	交通ネットワーク拠点に向けた基本計画
住 所	
氏 名	
電 話 番 号	
<p>※上記住所・氏名・電話番号をご記入いただいた場合、ご意見に対する回答を直接お届けいたします。 また、意見内容については町ホームページ等でも公表いたします（氏名等は未公表）</p>	
年 代 (該当する番号に○印をしてください。)	1. 10歳未満 2. 10代 3. 20代 4. 30代 5. 40代 ⑥. 50代 7. 60代 8. 70代 9. 80代以上
<p>(意見等の記入欄)</p> <p>----- 国のバス会社への補助もご承知のように先ゆき不透明で、5年、10年後に現状の公共交通網が維持されるかどうかわからないのに、約3億円もかけて拠点を作る必要性が感じられない。その予算で町内をドア to ドアで乗り降りできる町営（民間委託でももちろんOK）交通を充実させたほうが、利便性も良く、町内に雇用も生まれ良いのではないか。</p> <p>----- 高齢者やハンディキャッパーは無償で、その他町民や観光客等は1回200円程度負担してもいいと思う。少なくとも朝・午前・昼・午後・夕方の1日5便は設定し、また週末は夜も1便運行すれば、地元での飲食にもつながるのではないか。以上ご検討いただければ幸いです。</p> <p>----- ----- -----</p>	

ご記入ありがとうございました。

この用紙を備え付けの意見箱に投函してください。また用紙を持ち帰る場合は、ファックスか郵送、または直接担当課へご持参の上、ご提出ください。

上士幌町役場企画財政課（080-1492 上士幌町字上士幌東3線238番地）

TEL : 2-4290 FAX : 2-4637

ご回答文

今回の整備事業は、今後30年先を見据えた「小さな拠点整備構想（セントラルベルト構想）」に基づきながら、交通弱者や社会的弱者の利便性向上を図る目的を主眼に整備するものであります。単に民間バス事業者を優先して整備するものではなく、民間事業者も含めたあらゆる交通手段の結節点として整備しようとするものです。

現在の町内公共交通網は、民間バス事業者、タクシー会社、町高齢等福祉バス、スクールバスが、それぞれ独自に起終点を設け、サービス提供しているのが実態であります。

この度実施した交通弱者と言われる高齢者や子どもたちへのアンケート調査では、「交通機関の待ち時間や、徒歩での移動中」に不安を感じている回答が多くありました。これらをハブ施設、結節点として整備することにより、安心安全なサービス向上につながると考えております。また、本整備により市街地の公共施設や商店街に町民が出向く機会や交流の機会を増やし、これのみならず、特に家に閉じこもりがちな高齢者の健康寿命を引き延ばす効果としても期待しているところです。

高齢者等福祉バスの運行につきましては、現在の運行よりも増便を図り、ドア to ドアに近いような環境が生み出されてまいります。

結節点が出来ることと高齢者等福祉バス運行の増便が図られることは、多くの町民の皆さまの要望に応えるものと思っております。

整備費用の予算額は、268,166千円であります（内訳：国の地方創生推進交付金83,559千円、一般補助施設等整備事業費83,550千円【内2分の1が交付税措置】、一般財源101,107千円）。大きな額の税金が投入されますが、必ず効果として表れてくるものと思っておりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

今後ともまちづくりにお力をお貸しくくださるよう切にお願い申し上げ、ご回答とさせていただきます。